資料４

「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」改定に係る現行からの修正箇所（最終案）

p.1 はじめに

以下の全体構成について現行のまま維持しながら、現在の状況に合わせて全文を差替。

・「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の策定から前回改定までの経過

・前回改定以降の仙台市の動き

・公民館運営審議会における検討経過

p.2 以降

	現行	修正後	修正理由
① p.2	市民センターとは、次の3つの機能が一体となって運営される社会教育施設である。	市民センターとは、次の3つの機能が相互に関連し一体となって運営される社会教育施設である	提言を踏まえた修正
② p.2	あらゆるライフステージに応じた市民一人ひとりの学びを総合的に支援する	全世代にわたって多様な市民一人ひとりの学びを総合的に支援する	提言を踏まえた修正
③ p.2	子どもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行えるよう支援する場や機能を持った	こどもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行われる、	文言整理
④ p.2	市民センターは、それぞれの地域での市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人ひとりの主体的な生涯学習活動が充実し、その活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、その相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、それぞれの地域社会のより良い形成に寄与する“人づくり”を目指す。	市民センターは、地域の市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人ひとりの主体的な生涯学習活動が充実し、活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、学びを循環させて、地域社会の活性化とウェルビーイングの向上に寄与する“人づくり”を目指す。	国の動向を踏まえた修正 文言整理
⑤ p.2	職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。	職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、*参加者の意見*や市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。	提言を踏まえた修正
⑥ p.2	東日本大震災での経験を踏まえるとともに、震災からの復興を見据え、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図る。	東日本大震災の経験*と復興*を踏まえるとともに、地域課題の解決や共生社会の多様な担い手の育成に向けた取組の強化を図る。	国の動向を踏まえた修正

	現行	修正後	修正理由
⑦ p.3	拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。	拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、現代的課題や地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。	提言を踏まえた修正 国の動向を踏まえた修正
⑧ p.3	さらには市民自ら地域課題に向き合い住み良いまちづくりに協働して取り組むことができるように支援することである。 【重点方針】 ・地区館は“地域づくりの拠点”としての機能を果たすことを重点目標とし、地域のコーディネーターの役割を担うものとする。	さらには市民自ら地域課題に向き合い住みよいまちづくりに協働して取り組むことができるように支援することである。 【重点方針】 ・地区館は地域づくりの拠点機能を果たすことを重点目標とし、幅広い層の市民が参画しやすい工夫を行い、開かれた運営を目指すとともに、地域の多様な人や団体、活動をつなぐコーディネーターの役割を担うものとする。	提言を踏まえた修正 文言整理
⑨ p.4	少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画、多様性配慮などの現代的な課題、SDGsや本市が抱える諸課題への先進的な取組み、	少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画、社会的包摂、多様性配慮などの現代的な課題、SDGsや本市が抱える諸課題への先進的な取組、	提言を踏まえた修正 国の動向を踏まえた修正 文言整理
⑩ p.4	計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、生涯学習相談事業の充実を図る。	計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、多様な属性の市民に情報が届けられるよう、デジタル技術の活用を含めた効果的な発信を進めながら、生涯学習相談事業の充実を図る。	提言を踏まえた修正
⑪ p.5	地域団体、NPO・ボランティア団体等の民間諸団体や、区役所関係課等の行政機関、小学校、中学校、高等学校等の教育機関との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。 特に、地域課題の把握とその対応等に向け、区役所関係課と地区館とが連携して取り組み、市民協働による地域づくりが推進されるよう支	地域団体、NPO・ボランティア団体等の民間諸団体や、区役所関係課等の行政機関、小学校、中学校、高等学校、大学等の教育機関との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。 特に、社会教育主事の配置を生かして、地域課題の把握とその対応等に向け、学校や区役所関係課と地区館とが連携して取り組み、こど	提言を踏まえた修正

	現行	修正後	修正理由
	援する。	もの参画や市民協働による地域づくりが推進されるよう支援する。	
⑫ p.5	地域での子育て支援や子どもが育つ環境づくりのために、地域団体、民間諸団体、区役所関係課等、学校等、嘱託社会教育主事研究協議会支部等と連携し、地区館において、家庭及び地域社会の教育力の向上に資する取り組みとジュニアリーダーの育成支援が十分に行われるようともに取り組む。	地域での子育て支援やこどもが育つ環境づくりのために、地域団体、民間諸団体、区役所関係課等、学校等、嘱託社会教育主事研究協議会支部等と連携し、地区館において、家庭及び地域社会の教育力の向上に資する取組とジュニアリーダーの育成支援が十分に行われるようともに取り組む。	文言整理
⑬ p.6	また、地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、地域に積極的に出向きながら、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民や地域の諸団体等と協働して事業を展開していくものとする。	地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、地域に積極的に出向きながら、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行う。また、地域住民や地域の諸団体等のつなぎ役としての機能を果たし、協働して事業を展開するとともに、人材育成やネットワーク構築に継続的に取り組むものとする。	提言を踏まえた修正
⑭ p.6	地域住民を対象にしたアンケート調査や事業運営懇話会、日々の地域情報の収集などを通して地域住民の学習ニーズと地域課題を把握し、目標を明確にした上で特色ある事業を実施する。	住民の学びや活動への意欲を喚起し主体的な参加を促進するためには、ニーズの把握が重要である。地域住民を対象にしたアンケート調査や事業運営懇話会、日々の地域情報の収集などを通して学習ニーズと地域課題を掘り起こし、地域住民の思いを言葉や形にして特色ある事業を実施する。	提言を踏まえた修正
⑮ p.6	地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）や参加しやすい条件を整えるよう努める。	地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）に努めるとともに、障害の有無や多文化共生の観点などにも留意し、多様な市民が参加しやすい条件となるよう配慮する。あわせて新しいデジタル技術の活用も積極的に進める。	提言を踏まえた修正
⑯ p.6	市民自らが学ぶことで主体的な活動が地域で多様に展開できるよう、	市民の主体的な学びの活動が地域で多様かつ継続的に展開できるよ	提言を踏まえた修正

	現行	修正後	修正理由
		う、	文言整理
⑰ p.6	〔地域住民の交流の場、子どもたちの交流の場の確保〕 多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。 特に、地域の中で見守られ育まれるべき次代を担う子どもたちのための子育て支援と青少年の交流の場、地域住民と児童生徒との交流の場の確保に配慮する。	〔地域住民の交流の場、こどもたちの交流の場の確保〕 多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。 特に、地域の中で次代を担うこどもたちを見守り育んでいくための子育て支援と青少年の交流の場、地域住民と児童生徒との交流の場の確保に配慮する。	文言整理
⑱ p.7	〔様々な地域ネットワークの拠点機能＝プラットフォームの確保〕 地域にある様々な団体、NPO、ボランティア等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としての機能を持つ、プラットフォームを確保するよう努める。	〔様々な地域ネットワークの拠点機能〕 地域にある様々な団体、NPO、ボランティア等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としてプラットフォーム機能を発揮できるよう努める。	文言整理
⑲ p.7	町内会・PTA・商店街等の地域団体、NPO等の民間諸団体、学校等の教育機関や区役所等の行政機関等と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークが構築されるよう支援する。	町内会・PTA・商店街等の地域団体、NPO等の民間諸団体、学校等の教育機関や区役所等の行政機関等と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークが構築されるよう支援する。市民センターが持つ情報や人脈を有効に活用しつつ、自らも地域に出向くなどして積極的に認知度向上に努め、さらなる連携を促進する。	提言を踏まえた修正
⑳ p.7	地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材等）などに関する情報を多様な媒体に整理・保管し、地域住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。	歴史、文化、自然、祭礼行事、施設、人材、活動といった、市民センターに集まってくる幅広い地域情報を多様な媒体に整理・保管し、住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。	提言を踏まえた修正
㉑ p.8	地域内の学校や社会教育施設、区役所などの行政機関からのお知ら	紙媒体のほか、SNSなどデジタル*技術*も活用して発信力を高め、市民センターに関わる旬の情報や好事例を紹介する。地域内の学校や社会教育施設、区役所などの行政	提言を踏まえた修正 文言整理

	現行	修正後	修正理由
	せや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPOなどからの活動情報や募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。	機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPOなどからの活動情報、募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。	
㉒ p.8 ～9	未曽有の被害をもたらした平成23年3月の東日本大震災により、大きな被害を受け、建替えを余儀なくされた市民センターがあった一方で、地域住民の避難所となった市民センターも数多くあった。市民センターは、住民に身近な施設として住民の安全を守る役割などを担ったところである。 そして、これまで市民センターにおいては、この震災を踏まえ、震災復興や地域の防災・減災に資する事業、地域の絆を深める事業等に取り組んできたところである。 現在、地域においては、平時から地域団体や住民等が連携しながら、地域における防災体制を構築するなどの安全・安心な地域づくりが求められていることから、災害・防災等に関する知識を深め、防災・減災意識の向上を図るとともに、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図ることが重要となっている。	平成 23 年の東日本大震災により大きな被害を受け、建替えを余儀なくされた市民センターがあった一方で、地域住民の避難所となった市民センターも数多くあった。市民センターは、住民に身近な施設として住民の安全を守る役割などを担ったところである。 現在、地域においては、平時から地域団体や住民等が連携しながら、地域における防災体制を構築するなどの安全・安心な地域づくりが求められていることから、防災・減災に関する知識を深め、意識の向上を図るとともに、地域課題の解決や地域づくりの担い手の育成に向けた取組の強化を図ることが重要となっている。 各市民センターを拠点に、震災を踏まえた様々な活動が展開されていることは、仙台らしい取組であり、大きな特長である。徐々に震災の記憶が薄れつつあること、震災後に生まれたこどもたちや転入者も増えていることなどから、次世代への継承がますます重要となっており、今後も地域に根差した取組の継続が求められる。	提言を踏まえた修正 文言整理

	現行	修正後	修正理由
㉓ p.9	市民センターは、これまで培ってきた小学校、中学校、高等学校及び地域団体等とのネットワークを活かしながら、（後略）	市民センターは、これまで培ってきた小学校、中学校、高等学校、大学及び地域団体等とのネットワークを活かしながら、（後略）	提言を踏まえた修正
㉔ p.9	地域の生涯学習の拠点として、地域の防災・減災に資する講座等を積極的に開催するとともに、震災の経験や教訓、地域の歴史や文化等を広く発信していく。この場合において、次世代への継承、担い手の育成に向け重点的に取り組むものとする。	地域の生涯学習の拠点として、地域の防災・減災に資する講座等を積極的に開催するとともに、震災の経験や教訓、地域の歴史や文化等を広く発信していく。この場合において、知識やスキルの習得、身近な地域の災害についての学びのほか、多世代交流や多文化理解など様々な観点から企画を工夫し、次世代への継承、担い手の育成に向け重点的に取り組むものとする。	提言を踏まえた修正